

令和3年度 第3回函館圏総合都市交通体系調査 北海道総合都市交通体系調査協議会

目次

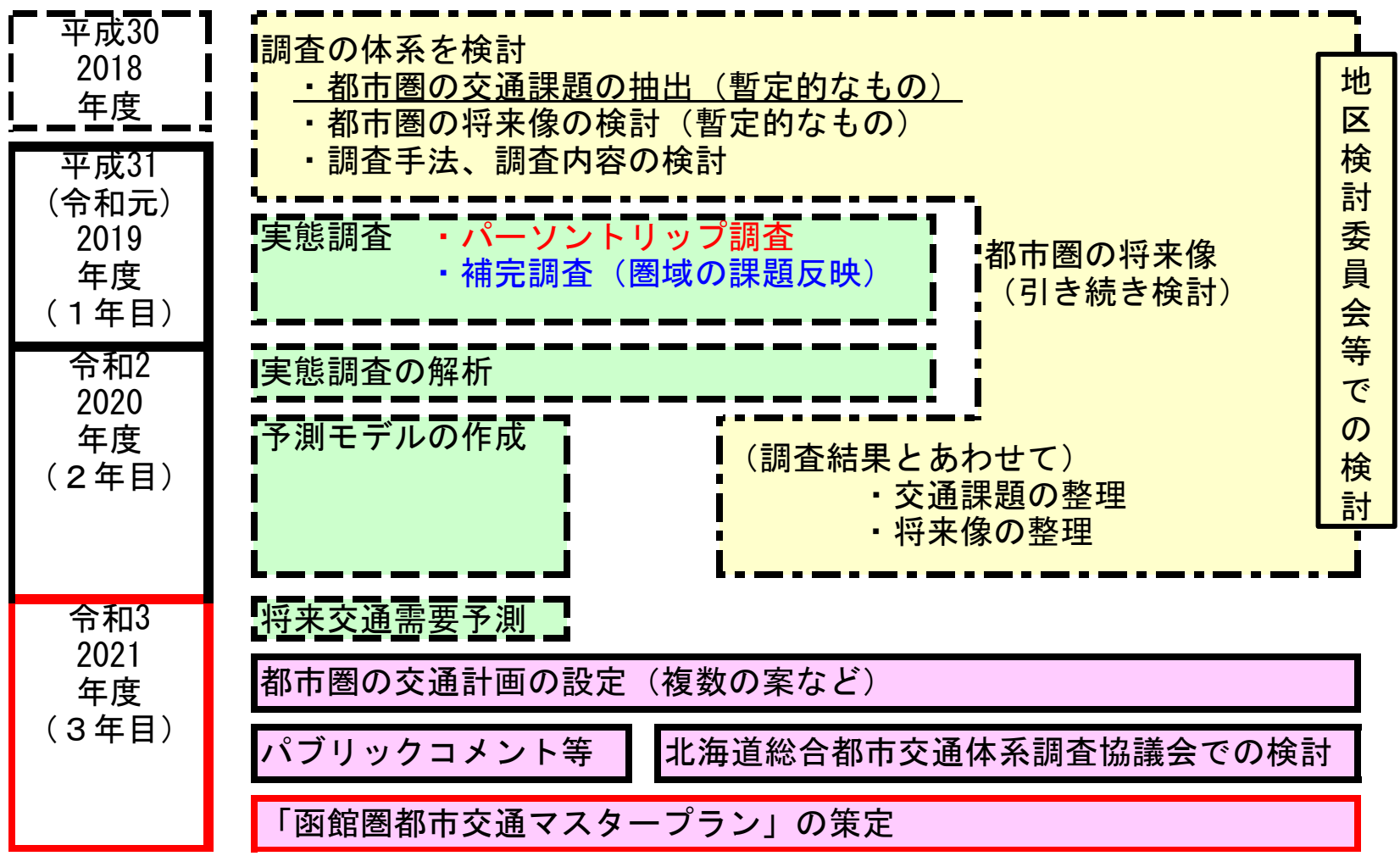
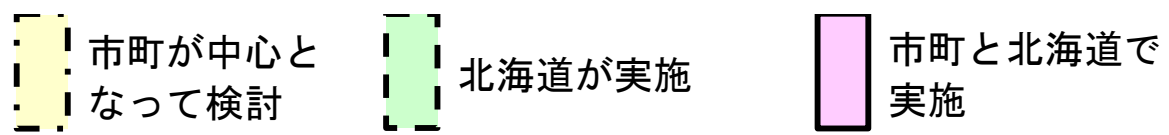
- | | |
|------------------------|--------|
| 1. 今年度のスケジュールについて |1 |
| 2. 各会議における意見及び対応方針について |4 |

日時: 令和4年3月25日(金) 10:00~
場所: 第二水産ビル 3階 3G会議室
北海道建設部まちづくり局都市計画課

1. 今年度のスケジュールについて

1. 今年度のスケジュールについて

(1) 函館圏総合都市交通体系調査(パーソントリップ調査)の全体構成



1. 今年度のスケジュールについて

● 全体のスケジュールについて

(1年目) R1 (2019年) 【実態調査】パ^o-ソットリップ^o 調査(P T調査)・付帯調査・補完調査、一次集計

(2年目) R2 (2020年) 【現況解析】P T調査の結果解析・交通課題の整理・予測モデル検討

(3年目) R3 (2021年) 【マスタープラン策定】将来交通需要予測・交通マスタープラン策定

● 今年度のスケジュールについて

| 日付 | 会議名 | 議題 |
|-------------------|------------------------------|--|
| 8月27日 | 第1回 函館圏総合都市交通体系調査地区検討委員会 | <ul style="list-style-type: none"> 今年度のスケジュール 今年度の作業概要について 前年度各会議における意見及び対応方針について |
| 11月8日 | 第2回 函館圏総合都市交通体系調査地区検討委員会 | <ul style="list-style-type: none"> マスタープランの骨子について 将来交通需要予測結果について |
| 11月17日 | 第1回 北海道総合都市交通体系調査計画課題検討ワーキング | <ul style="list-style-type: none"> 今年度のスケジュール マスタープランの骨子について 将来交通需要予測結果について |
| 12月1日 | 第1回 北海道総合都市交通体系調査協議会 | <ul style="list-style-type: none"> マスタープランの骨子について 将来交通需要予測結果について |
| 1月17日 | 第3回 函館圏総合都市交通体系調査地区検討委員会 | <ul style="list-style-type: none"> 作業の進捗状況 マスタープラン素案 パブリックコメントについて |
| 1月19日 | 第2回 北海道総合都市交通体系調査計画課題検討ワーキング | <ul style="list-style-type: none"> 作業の進捗状況 マスタープラン素案 パブリックコメントについて |
| 1月28日 | 第2回 北海道総合都市交通体系調査協議会 | <ul style="list-style-type: none"> 作業の進捗状況 マスタープラン素案 パブリックコメントについて |
| 2月8日 ～ 3月9日 | パブリックコメント | <ul style="list-style-type: none"> 北海道HPへ掲載 道庁、各振興局及び圏域市町にて閲覧・配布 |
| 3月25日 | 第3回 北海道総合都市交通体系調査協議会 | <ul style="list-style-type: none"> パブリックコメント結果について マスタープラン最終案 |
| 3月29日 | パブリックコメントの実施結果公表 | <ul style="list-style-type: none"> 北海道HPへ掲載 |
| 4月中 | 函館圏の都市交通マスタープラン公表予定 | <ul style="list-style-type: none"> 北海道HPへ掲載 |

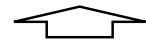
北海道総合都市交通体系調査協議会【道が設置、札幌開催】
 委員については別表第1のとおり

- 調査全体に関する基本方針、重要事項の検討
- 都市交通マスタープラン策定のための調査、連絡、調整
- 専門的・広域的視点及びスケジュールからの検討



**北海道総合都市交通体系調査協議会
計画課題検討ワーキング【道が設置、札幌開催】**
 顧問及び委員については別表第2のとおり

- 協議会に付すべき事項についての検討、調整
- 調査に係わる専門事項についての検討、連絡、調整
- 調整が必要な事項に対するの助言



地区検討委員会【地元市町が設置、函館開催】

学識経験者(函館高专 佐々木准教授、札幌国際大学 池ノ上教授)、北海道開発局(函館開建 道路計画課長)、北海道運輸局(函館運輸支局 企画専門官)、北海道(振興局 新幹線推進室長、建設管理部 地域調整課長、道路課長)、道警函館方面本部(交通課長補佐)、東日本高速道路(室蘭管理事務所 工務課長)、函館商工会議所(専務理事)、函館市亀田商工会(事務局長)、JR北海道(函館支社企画次長)、道南いさりび鉄道(経営企画部長)、函館地区バス協会(事務局長)、函館地区ハイヤー協会(専務理事)、函館地区トラック協会(専務理事)、地元市町(部長級)
 (会議事務とりまとめの中心的役割 函館市都市建設部)

- 都市圏における調査に関する事項についての検討、審議、調整
- 関係機関との連絡、調整

2. 各会議における意見及び対応方針について

2. 各会議における意見及び対応方針について

(1) 第2回協議会(R4.1.28)時の意見と対応方針

| 意見者 | No. | 第2回協議会(R4.1.28)の主な意見 | 対応方針(事務局意見) |
|-------------------------------------|-----|--|--|
| 北海道大学大学院 工学研究院 高野座長 | 1 | 資料2について、時間帯別交通量推計や中間年次および人口ビジョンについての検討がなされているが、成果品としてはどのようなまとめになるのか。 | 第1回協議会の意見を踏まえ、ケーススタディとして算出しているため、資料編として取りまとめ、今後の事業や施策に有効活用していきたい。 |
| | 2 | 資料2の時間帯別交通量推計は、PTの時間帯別比率を考慮し算出された結果であるのか。 | PT調査結果の時間帯別比率を用いて算出されている。 |
| 北海道大学大学院 公共政策学連携研究部 岸委員 | 3 | 資料2の時間帯別将来交通量推計結果を踏まえ、函館駅周辺の混雑が見られないため、ウォークアブル推進に向けた資料としても捉えることが出来ると考えている。 | 函館市ではウォークアブルな空間整備として、函館駅前・大門地区(高砂通・東雲広路)で事業を予定している。今回の分析結果を踏まえ、今後の道路計画や都市計画道路の見直し等について検討する上で、有効活用していきたい。 |
| 北海道大学大学院 工学研究院 内田委員 | 4 | 資料2における時間帯別交通量推計は、これからの道路計画として示していく必要がある。 | No.3と同様 |
| | 5 | 資料2のP17・18について、地元の方が資料を見て実態に合った結果が算出されているのかを伺いたい。 | 提示されている混雑度が1.00以上の区間は想定している通りである。五稜郭から函館山あたりは混雑しない想定だが、五稜郭から扇状に広がる路線について、地元の感覚ではもう少し混雑度が1.00以上になっても良いかと思う。ただし、現状ではなく、将来の推計結果であることを踏まえると概ね想定内と思っている。(函館市) |
| | 6 | この時間帯別交通量推計は、道路の規格に応じた信号現示などが考慮されれば地元の方の感覚に近い結果が算出されるかと思う。函館新外環状道路において、日算出された結果は混雑度が1.00以上となっているが、時間帯別を見ると混雑度が1.00以下となっているため、現実に近い結果が算出されているのではと感じている。 | 時間帯別に分析を実施することで、より実態に近い結果を得られることが出来たと考えており、今後、有効活用していきたい。 |
| | 7 | 資料3のP9の免許返納グラフについて、正確に記載されていない。各階層で比率が足し上げられているため2重計上ではないか。 | グラフの記載方法について、誤解の無いように修正する。 |
| 北海道開発局 開発監理部開発調整課 伊藤委員(代理) | 8 | パブリックコメントに配布される資料はどの資料になるのか。 | 資料4の都市交通マスタープラン素案と、協議会時に委員に配布していなかったが、画面共有した概要版をパブリックコメントで配布した。 |
| | 9 | 資料4のP97施策3で免許返納の促進と記載されているが、この記載では免許返納を促すことが施策と勘違いされてしまうのではないかと。あくまでも、自主返納者へのサポートが施策になるのではないかと。 | 「運転免許自主返納者へのサポートの充実」という表現に修正する。 |
| 北海道警察本部 交通部交通規制課 山田オブザーバー(代理) | 10 | 当方として返納促進の記載はありがたいが、返納者へのサポートの充実の方が表現とし適している。 | NO.9同様 |